

年 月 日

京都府知事 様

工場・事業場の名称

代表者の氏名

光化学反応による大気汚染緊急時（光化学スモッグ
注意報等発令時）におけるばい煙排出量等減少計画書

1 操業状況と連絡方法について

記入上の 注意事項	項 目	内 容
1の1	工場・事業場の 所在地	市 区 郡 町 番地
1の2	電話（緊急連絡先）	電話（ ） — 時間外電話（ ） — 緊急用電話（ ） — 電子メールアドレス：
1の3	環境関係担当部 課・担当者	部 課 係 担当者名
1の4	操 業 時 間 (工場等全体として)	時 分から 時 分まで（ 時間 分）
1の5	工場等休業時期	土・日・祝日・盆休み（ 日～ 日）・夏休み（ ～ ）
1の6	主要製造品目等	

1の7

簡単な製造工程図

- ↑
- 特に熱源が必要な工程部には、H () を付してください。
 - () 内には該当する施設番号を記入してください。

3 揮発性有機化合物（VOC）排出施設に係る減少計画 ※VOC 排出施設を所有する事業場のみ提出してください。

記入上の 注意事項	項 目	内 容						
3の1	届 出 施 設 名					合計	使用率(%)	削減率(%)
3の2	施 設 の 規 模							
	稼働時間帯 (〇〇時~〇〇時)							
3の3(1)	のお5 使用く 状況通9 況常月 時に	V O C の 種 類 と 使 用 量 (L/h)					100%	0%
(2)		操 業 速 度						
(3)		排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)						
3の4(1)	使用 注 状況 意 報時 の施 設 の	削 減 措 置						
(2)		V O C 使 用 量 (L/h)						
(3)		操 業 速 度						
(4)		排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)						
3の5(1)	の施 設 の使 用 状況 警 報(緊 急警 報)時	削 減 措 置						
(2)		V O C 使 用 量 (L/h)						
(3)		操 業 速 度						
(4)		排 出 ガ ス 量 (Nm ³ /h)						
3の6	排出減少状況の確認方法							
3の7(1)	給油作業	給油時のタンク排気方法			3の7(3)	有機溶剤タンク容量・基数	k L ×	基
		注意報等発令時の措置			(4)	総給油量・回数	k L / 日	回 / 日
3の8	特 記 事 項							

参 考 資 料

表 1 当該工場・事業場当りの燃料消費量（前年実績）

事 項	単 位	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	備 考
月間使用量	k L													小数以下 4 捨 5 入
操 業 日 数	日													
日 使 用 量	L													小数以下 4 捨 5 入
時 間 使 用 量	昼間	L												昼間 時～ 時
	夜間	L												夜間 時～ 時

表 2 当該工場・事業場当り原材料使用量及び廃棄物焼却量（前年実績）

原材料等の種別（ ）

事 項	単 位	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	備 考
月 間 量	t													小数以下 4 捨 5 入
操 業 日 数	日													
日 間 量	kg													小数以下 4 捨 5 入
時 間 量	昼間	kg												昼間 時～ 時
	夜間	kg												夜間 時～ 時

表 3 NO_x 減少対策についての特記事項

項 目	燃 料	排煙脱硝	NO _x 生成抑制法	そ の 他
内 容				

表 4 自社測定値（NO_x）

施 設					
測 定 日					
濃 度 (ppm)					
備 考					

- 記入上の注意
- 1 表 1・表 2 の備考欄中、昼間及び夜間の時間帯はそれぞれの工場・事業で通常使用している時間帯を記入してください。
 - 2 表 3 中、燃料の欄には都市ガス・LPG等を記入し、使用開始の年月も記入してください。
 - 3 表 3 中、NO_x 生成抑制法には二段燃焼法・排ガス再循環法・低NO_x バーナー等を記入するとともに、その削減効率も併記してください。
 - 4 表 4 中、備考欄には測定値の最高・最低値等を記入してください。
 - 5 その他、適宜補足資料を添付してください。